

平成 27 年度事業報告

期間：平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日

1、平成 27 年度の活動基本方針

NPO アエゾンは、障がいがあってもなくても、誰もが、自分らしく、みんなと、地域で普通の生活ができる地域づくりをめざし、1、エンパワメント2、インクルージョンの理念に基づいて、「その人の持つ力を引き出す支援」「力が発揮できるような社会環境を作る(調整する)支援」を行うことを活動の基本方針にしてきました。

VISION(こうありたいと望む姿)共創社会 Co-Creation

一緒に考え、行動に移し、新しい価値を創り出す社会づくり

MISSION(果たすべき役割・行動理念)エンパワメントを高める支援

○その人の持つ力を引き出す支援

○その人の力が発揮できるよう社会環境を創り出す(調整する)支援

Next10 をめざし、何に取り組むかについて、かかわりをもつ皆さんと共に考え、意見をうかがいながら、具体的に行動や目に見えるもの、実感できるものとして、一緒に創り出して(共創)いきたいと考え活動してきました。

2、平成27年度の活動報告

(1) 地域活動支援センター ライズアッププラス

今年は「コミュニケーション」についてのソーシャルスキルトレーニングに重点を置きました。

・公開講座 講師に藤井ひろみ先生(神戸市看護大学)をお招きして、

○第1回『みんなで暮らしていくために
(身だしなみ編)』9月20日

○第2回『みんなと暮らしていくために
(人との距離感)』2月20日



赤ちゃんの人形を使い、「どういうところが汚れやすいか」「清潔を維持していくか」を学びました



気持ちいい人との距離、しんどく感じる距離を体感してみました



- ・**絵画教室** 10月から月1回 講師の先生をお招きしてはじめました。
- ・**季節のお楽しみ創作** (新プログラム)をはじめました。
- ・『**福島ひまわり里親プロジェクト**』に参加し、ひまわりの種を植えました。
- ・**歯科衛生指導** 加古川歯科保健センターより歯科衛生士さんにお越しいただき、取り組みました。
- ・**調理**は、各自が家庭でも実践できるように材料切りから片付けまで、各自一人前の分量調理にしました。
- ・**かな美文字教室**への参加と美文字展を年2回、第11回兵庫県障害者芸術文化祭に作品出展(3月)
- ・**活動報告会**を利用者さんたちと一緒に3月に行ないました。
- ・**利用アンケート** 今後の運営に活かすため、利用者さんにご家族に実施しました。
- ・プログラムの大幅に見直し、皆さんに自分の時間割を組んでいただくようにしました。
- ・利用者さんの個別支援計画の作成、モニタリングをご本人とご家族と面談の上行っています。



- ・ふれあいフェスタ・健康福祉フェア・大中遺跡まつりにおける模擬店、東はりま特別支援学校の避難所訓練に参加、ユニバーサルスポーツ交流会の参加者記念品制作、ソーデーマーチのボランティア参加、花のプロジェクト協力等に取り組みました。
- ・サービスの標準化や記録の効率化、ライスアップ+通信の毎月発行、ブログによる公開をしています。
- ・トライやるウィーク、清水高校のインターンシップ受け入れを行ないました。

(2) 指定相談支援事業所 ライスアップ

○身体・知的・精神・難病の方の成人と子どもを対象とした「特定相談支援」「障害児相談支援」「一般相談支援（地域移行・地域定着）」を行なっています。（児童 65 人、成人 68 人）

○個別支援会議や支援者サービス調整会議も活発に開かれるようになりました。

計画案 177 件、計画 177 件、モニタリング 388 件、個別支援会議 25 件、サービス調整 17 件、支援者会議 10 件、打ち合わせ 19 件、訪問 603 件、電話 3072 件、同行 12 件



(3) 播磨町地域自立支援協議会の地域支援ネットワーク構築業務

- ・障がいのある人が地域で安心して生活できる地域福祉をすすめるため、課題解決に向けて、町内外のさまざまな地域資源をつなぐ調整や、作業部会の運営、コーディネート等を行う地域自立支援協議会の地域支援ネットワーク構築業務を誠実に取り組んでいます。
- ・チームビルディング研修で学んだ「自分事にする」参加型の話し合いの場づくり、情報の視覚化、みんなのノート（板書）を実践しています。
- ・播磨町地域自立支援協議会のホームページを開設しています。
- ・播磨町自主防災講演会 講師：同志社大学立木茂雄教授「避難行動要支援者の支援」に参加
- ・播磨小学校避難所運営マニュアル策定委員会に出席

(4) ファイザー助成金事業(平成27年1月～平成27年12月)(平成28年1月～平成28年12月)

「ファイザー（製薬企業）のく心とからだのヘルスケアに関する市民活動・市民研究支援」助成を受け、新たなネットワークを構築しながら、障害のある子どもとその家族の支援プログラム実施。

①<未だ支援につながない当事者・家族を掘り起し、医療・保健・福祉・生活・就労の関係機関へつなぐ>とともに、②<障がい児・者の家族自身が、自分の人生や生活を考え、自分を大切にできる場としての個別相談や、支援講座による情報提供、共通の悩みや立場にある人が集い支え合える「家族」の集いを通して、「家族」を再生>し、③<福祉サービス以外でも、人と人が直接出逢い、ふれあいつながり、本人・家族ともに社会的に孤立させない地域づくり>をめざす、家族再生のプログラムを創る」を目的に活動を行なっています。

6月に中間報告、7月ヒヤリング、9月継続助成に向けた本社でのプレゼンテーション、12月継続助成決定贈呈式を経て、平成28年1月～平成28年12月の継続助成が始まりました。

ファイザープログラムの実施にあたっては、播磨町健康いきいきセンター指定管理者:株式会社 linkworks や NPO 法人シミズシーズ、東播磨相談事業者チーム支援ネット等と事業を通じて新たなネットワークを構築し、共催事業としてすすめています

《平成27年4月分～平成28年3月活動実績報告》

<家族のエンパワメント>

- 【1】①**毎月のランチ会**(8回実施)②**親子遊びの会とグループ相談会**(4回実施)③**個別相談会**(8回実施)



4月ランチ会:アロマセラピー 2回 「6月ランチ会:療育とは 講師:海津敦子氏(播磨都文京区議)

- 【3】④**家族が元気になるコンサート 2015** 出演: MATRIX (ブラジル音楽とサンバ)



「家族が元気になることばがけ」海津敦子氏
平成27年10月31日

家族が元気になるコンサート
サンバマトリックス 平成27年11月21日

<支援者のパワーアップ>

- 【1】①**発達障害のある子どもの支援ミーティング vol.1**

日時:平成27年5月4日 13:00~17:00 会場:播磨町健康いきいきセンター

主催:NPO アエゾン/播磨町健康いきいきセンター指定管理者:株式会社 linkworks

「感じ方の違いに気づいていますか?」子どもの「感じ方」の違いと行動の意味について

講師:岩永竜一郎氏(長崎大学大学院准教授)



第1部 岩永竜一郎氏講

第2部 質問にお答えして

②発達障害のある子どもの支援ミーティング vol. 2

日時：平成28年1月24日 13:00～16:00 会場：播磨町健康いきいきセンター
主催：NPO アエソン/播磨町健康いきいきセンター指定管理者：株式会社 linkworks
「遊びとスポーツ 体を動かすことを通じて伸ばす力」
講師：金山千広氏（神戸女学院大学教授）



金山千広氏

第2部 柏木登起コーディネーターと金山氏によるワークショップ

【2】ブラッシュアップ研修

日時：2016年2月6日(日) 13:30～16:00 場所：播磨町第2庁舎（教育委員会）

主催：NPO アエソン/東播磨相談支援者チーム支援ネット

「効果的な会議の開き方・進め方」講師：柏木輝恵氏（シミンズシーズ）

個別支援会議等を開くにあたっての式次第の作り方、効果的な会議の開き方、進め方のスキル



*ファイザープログラムに助成を受け事業展開を通じて、アエソンが学んだネットワークの作り方、話が出やすい場づくり等を実践に移しています。アエソンの組織強化につながっています。

(5) 播磨町権利擁護まちづくり委員会

・播磨町権利擁護まちづくり委員会の構成メンバーとして、毎月の定例会に出席しています。

・啓発講演会『使って安心！成年後見制度～家族だって後見人～になれる』

講師：成年後見センター リーガルサポート兵庫支部 支部長 助永嘉伸 氏

(日時 平成28年1月22日(金) 10時～12時) に参加

(6) 福祉職員人材研修事業

【1】ブランディング_講師:柏木輝恵(シミンズシーズに委託7回シリーズ)

今年度は、「自分ごとにする」をキーワードにして、アエソンのブランディングに取り組み始めました。

○事前ヒヤリング・役員アンケート

○第1回 12月25日(金)職員と理事の参加 「関係性をつくる」「アエソンを知る」「アエソンの現状確認」

○第2回 2月3日(水)「アエソンの未来を思い描く」「好きなこと/嫌いなこと」

(7) その他、目的の達成に必要な事業

- ・アエソンのホームページによる情報発信を行なっています。
- ・毎朝の連絡調整会議（朝礼）、毎月1回職員全体会議と、地域活動支援センターのカンファ、相談支援事業所のカンファを行ない、記録を書面で残し、共通認識のもとに職務を遂行しています。
- ・はりまデザインラボのメンバーとして、法人のそれぞれの事業を通じて、県立東はりま特別支援学校や地域との連携に取り組んでいます。9月～ラボのブランディングに取り組んでいます。

3、法人全体の運営

(1) 理事会

①平成27年5月26日 理事会・総会

平成26年度活動報告、活動計算報告、27年度活動計画、27年度予算採択

②平成27年12月25日 理事会

ファイザー継続助成決定報告、アエソンブランディング実施決定

③就業規則(フルタイム・パートタイム)の改正、賃金表、旅費規程と様式、役員費用弁償、組織規程、本部事務局規程、経理の職員への公開、代表理事の報酬改定について採択、ファイザーの経過報告と今後の方針については28年5月23日の理事会で検討

○ブランディングに並行して、理事会にて、「就業規則」、「賃金ステージ」、「組織規程」、「本部事務局規程」、「旅費規程と様式」、「役員費用弁償規程」、組織図等の改正、策定を12月～3月にかけて行ないました。

(2) 監査

①2か月毎に監事による会計監査実施、平成28年4月22日決算報告の監査実施

(3) 物品購入

①コピー機 キヤノンC3320F、プロジェクター5000ルーメン購入

②クリエイティブクラウド購入(毎月払い)

③サイボーズ NPO 版導入 (職員間のスケジュール管理、コミュニケーションツールとして)

④研修セット (カバンと事務用品一式)整備

⑥相談の車 ヘッドライト交換修理 西野添の事務所駐車場に看板をつけてもらうよう依頼